

# 和歌山だよいい

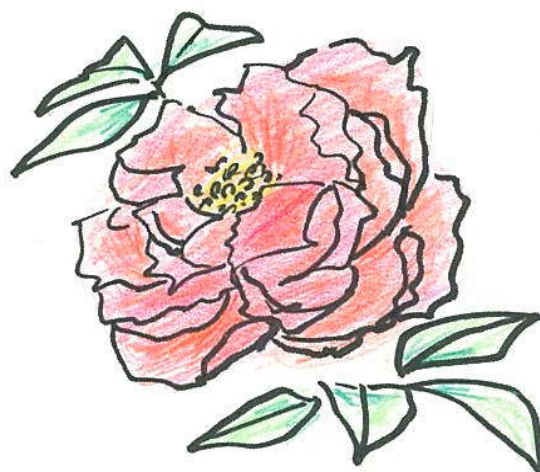
5月号 No.2



筏下り(北山村)  
5月3日オープン

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P6
3. お知らせ…………… P7～P10
4. ふるさと歳時記…………… P11



牡丹

## 「和歌山弁」

私は音楽が苦手です。カラオケも下手です。音感が悪いと思います。例えば、和歌山から東京に行った友達で、音感のいい人はすぐに向こうのアクセントになり、帰省すると、また、ぱっと和歌山弁に戻れます。私は、じわじわとしか変えられません。東京に30年以上も住んでいたのに、まだ、アクセントは和歌山のまま。それでも時々、向こうのアクセントに変わっているのを発見することもありました。じゃあ、和歌山に帰ってきて向こうのアクセントがすぐ消えるかというと、それも中々です。器用ではありません。

「和歌山弁には敬語がない。乱暴だ。」と言われます。確かに、敬語は少ないかもという気がします。しかし、「汚い言葉だ。」と言われると反発を覚えますし、「この言葉のせいで和歌山へ来る観光客などは和歌山を嫌いになるのだ。」という意見には、違うのではないかと思います。お年寄りのご婦人が、にこにこしながら和歌山弁でゆっくりと話してくれる時があります。敬語など少ししか使っていないけど、心温まる情感は他所から来た方に好意を持たれこそすれ嫌われることなどありません。

最近はマニュアルばやりです。ファミリーレストランなどで、マニュアルどおり標準語で店員さんに応対されても、心がこもっていなければ好感は持てません。私は、和歌山弁でいいと思うのです。しかし、和歌山弁なら全ていいかということ、そうではないと思います。要は、話す人の心の持ちようではないでしょうか。親切な気持ちで、好意を持って他人に接すれば、言葉を通じて気持ちが相手に伝わります。真心を持って接する“おもてなしの心”が必要なのです。観光和歌山が繁栄するように、皆で“おもてなしの心”を磨きましょう。そして、心をこめて、和歌山弁でおもてなしをいたしましょう。

和歌山県知事

仁坂吉伸



\*このメッセージは、県広報紙「県民の友」(6月号)に掲載するものです

## 今月の和歌山県政トピックス

最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

\* 「和歌山県政トピックス」は知事定例記者会見における発表項目の知事説明を要約して掲載しています。

### ●和歌山県内で100年以上営業している老舗企業を表彰

・和歌山県では、時代の変遷の中にあって、県内で100年以上にわたり伝統の技術や事業を守り、継承することによって本県の経済発展に貢献し、かつ他の企業の規範となってきた「長寿企業」を表彰しました。

受章された37の老舗企業一覧です。みなさんご存じですか？

#### 【100年企業表彰制度】企業一覧

(創業年数順)

	企業名	業種	所在地	申請書に基づく ＜創業年次＞	創業年数
1	株式会社 駿河屋	食料品製造販売	和歌山市	1461年 (寛正2年)	546
2	株式会社 湯崎館	旅館	白浜町	1604年 (慶長9年)	403
3	株式会社 川湯観光 富士屋	旅館	田辺市	1650年 (慶安3年)	357
4	株式会社 玉林園	緑茶製造・卸・販売、飲食店、食品製造	和歌山市	1736年 (元文元年)	271
5	株式会社 山長商店	林業、木材、製材業、プレカット	田辺市	1759年以前 (宝歴9年)	248
6	株式会社 野半の里	酒類製造販売、温泉浴場事業等	かつらぎ町	1789年 (寛政元年)	218
7	株式会社 金谷伊兵衛商店	鉄鋼材料、金物類、建築土木等道具の販売	湯浅町	1830年 (天保元年)	177
8	株式会社 東農園	梅干し及び梅製品製造販売	みなべ町	1834年 (天保5年)	173
9	株式会社 角長	醤油製造業	湯浅町	1841年 (天保12年)	166
10	株式会社 シマムラ	髪油びん附、オリーブ化粧品、製造販売	和歌山市	1842年 (天保13年)	165
11	株式会社 小原久吉商店	味噌、醤油製造販売	湯浅町	1850年頃 (嘉永)	157
12	株式会社 亀井商店	日用品卸販売、ギフト販売	橋本市	1853年 (嘉永6年)	154
13	株式会社 ホテル大阪屋	旅館	和歌山市	1857年以前 (安政4年)	150
14	株式会社 はし長	鮮魚(卸、小売)	御坊市	1865年 (慶応元年)	142
15	香梅堂	菓子製造小売	新宮市	1867年以前 (明治元年以前)	140
16	株式会社 花安	生花小売、フライダル、装花、葬祭供花	和歌山市	1872年 (明治5年)	135
17	株式会社 花畑	木材業、不動産業等	和歌山市	1874年 (明治7年)	133
18	丸新本家	金山寺味噌、醤油製造販売	湯浅町	1881年 (明治14年)	126
19	株式会社 はやし	ホテル、レストラン、土産品販売	和歌山市	1882年 (明治15年)	125
20	株式会社 世界一統	酒造業及び酒類卸業	和歌山市	1884年 (明治17年)	123
21	株式会社 オカヘイ本店	靴小売	和歌山市	1885年 (明治18年)	122
22	株式会社 高橋組	総合建設業	和歌山市	1888年 (明治21年)	119
23	有限会社 粉吉	和菓子製造販売	和歌山市	1889年 (明治22年)	118
24	株式会社 湯川鑄造所	銑鉄鑄物製造業	和歌山市	1891年 (明治24年)	116
25	ワイ・エス・ケー 株式会社	産業用火薬類、有機中間体製造販売	和歌山市	1891年 (明治24年)	116
26	ライオンケミカル 株式会社	蚊取り線香、家庭用日用品製造販売	有田市	1895年 (明治28年)	112
27	中田食品 株式会社	調味梅干し、梅酒の製造	田辺市	1897年 (明治30年)	110
28	尾崎酒造 株式会社	清酒、焼酎、リキュール製造	新宮市	1898年以前 (明治31年以前)	109
29	富士化学工業 株式会社	医薬品、食品添加物	和歌山市	1898年頃 (明治31年頃)	109
30	株式会社 大山	紙、文具、オフィス、家具、住設備リフォーム	和歌山市	1900年 (明治33年)	107
31	株式会社 和歌山水了軒	飲食、寿司販売、不動産業	和歌山市	1900年 (明治33年)	107
32	株式会社 前福	海産物加工(シラス釜揚げシラス干し、イワシ煮)	湯浅町	1903年 (明治36年)	104
33	株式会社 酒直	セメント、生コン、土木資材、石油、食品他	和歌山市	1905年 (明治38年)	102
34	株式会社 則種海産	海産加工(シラス)	湯浅町	1905年 (明治38年)	102
35	株式会社 三前商店	木炭卸、販売、植林、石油製品販売	みなべ町	1905年 (明治38年)	102
36	株式会社 山本種苗園	種苗、農業用資材	和歌山市	1906年 (明治39年)	101
37	和歌山染工 株式会社	絹綿織物の染色整理業	和歌山市	1907年 (明治40年)	100

●和歌山県の公共調達制度改革

～平成20年6月から公共工事・委託業務の条件付一般競争入札の全面導入～

・和歌山県では、公共調達制度改革を行うのに当たり、①効率性の向上、②公共工事の質の確保、③「天の声」の徹底排除と県庁の規律の確保、④建設業界の健全な発展を目的に、平成19年1月に公共調達検討委員会（委員長：郷原信郎 桐蔭横浜大学法科大学院教授）を設置しました。

・平成19年5月には、この委員会から12項目の具体的な提言を受けました。

・また平成19年6月には、この提言及び県民意見を踏まえ、「公共調達制度改革 ～公共工事における入札制度改革～」を発表しました。

・この12項目から成る入札制度改革の実現に向けて、具体的な取り組みを行い、平成20年6月から新しい公共調達制度を実施します。

【公共工事にかかる入札制度改革の主な内容】

- ① 品質・技術の評価・審査を踏まえた条件付き一般競争入札の全面導入
- ② 品質確保と優良業者育成を目的とした「業者評価制度」の導入
- ③ 和歌山県の実情を踏まえた総合評価方式の積極導入
- ④ 地域要件の緩和（入札参加できる対象地域の拡大）及びダンピング対策

また、公共工事に係る委託業務（設計・調査・測量）につきましても、公共工事と同様に、平成20年6月から条件付一般競争入札を全面導入します。

公共調達制度につきましては、平成20年6月以降の実施状況を踏まえ、県民の皆様のご意見も幅広くお聞きした上で、よりよい制度となるよう取り組んでいきます。

※和歌山県の公共調達制度改革についての詳細につきましては、技術調査課のホームページを参照してください。 (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/081100/index.html>)

◆ お問い合わせ先  
和歌山県技術調査課  
TEL 073-441-3081, 3082

●東京製綱株式会社（雑賀崎用地）へ進出

・県の誘致企業として、歴史がある東京製綱株式会社（東証1部上場）が和歌山市の雑賀崎企業用地に進出することが決定し、4月22日に県庁で企業進出に関する調印式が行われました。

\*当該工場では、太陽光発電装置に使用するシリコンウエハーのインゴットをスライスする極細鋼線（ソーワイヤー）を製造します。

【進出企業の会社概要】

所在地：東京都中央区 / 創業：明治20年  
資本金：15,074百万円 / 従業員数：537名  
業務内容：ワイヤーロープなどの鉄鋼二次製品の製造・販売

【進出概要】

事業所名：同社 和歌山分工場  
敷地面積：8,316 m<sup>2</sup>（延床面積 1,829 m<sup>2</sup>）  
事業内容：極細鋼線（ソーワイヤー）の製造 / 雇用予定：約30名  
投資額：5億円（設備等） / 進出予定：平成20年5月操業開始予定

## ●株式会社エスアールアイが海南市（和歌山リサーチラボ）へ進出

・県の誘致企業として、株式会社エスアールアイが海南市の和歌山リサーチラボにSRIサテライトオフィスを設立します。

代表取締役の浦氏は、串本町出身です。

### 【進出企業の会社概要】

所在地：西牟婁郡白浜町 / 創業：平成13年

資本金：50百万円 / 従業員数：65名

業務内容：クオリティ社製品のソフトウェアテスト、ソフトウェア設計・開発

### 【進出概要】

事業所名：SRIサテライトオフィス

敷地面積：105.68㎡（和歌山リサーチラボ401号室）

事業内容：ソフトウェア開発 / 雇用予定：3年間で30名雇用予定

投資額：3,000千円 / 進出予定：平成20年5月操業開始予定

## ●道路特定財源関連法案の早期成立を求める和歌山県総決起大会を開催！！

・ガソリン税の暫定税率が3月末で期限切れとなったことを受け、県及び県議会、市長会、町村長会、市議会議長会、町村議会議長会、県道路協会、市町村道整備促進既成同盟会が主催で産業界の各団体が共催する総決起大会を4月12日に開催しました。

・大会では、道路財源の十分な確保や同法案の速やかな成立または再可決による成立、同法案が成立するまでの地方歳入欠陥への特別な財源措置などを国に求める内容の決議を行い、出席した県関係国会議員7人に手渡しました。

同月18日、知事が上京し要望活動を行いました。

・県の試算ではガソリン税の暫定税率が廃止された場合、18年度の決算ベースで県財源は年間120億円、市町村全体は50億円が不足します。



### 【関連事項】

＜県議会全員協議会で緊急決議を採択＞

同月16日、県議会は全員協議会を開き道路特定財源関連法案の早期成立を求める緊急決議を賛成多数で採択し、17日に中村県議会議長らが福田首相や国土交通大臣などに提出しました。

＜道路特定財源関連法案の再可決を求める紀伊半島一周道路行進＞

県、県議会、市町村、市町村議会などが一体となって、県内全市町村をリレーしながら紀伊半島一周の道路行進を実施しました。

期 間：4/25～4/29

ルート：北山村～和歌山市、高野町～和歌山市の2ルート

最終日、和歌山市の行進に知事や全市町村が結集しその後全体集会を開催しました。

●住宅用太陽光発電設備に都道府県では全国に先駆けた補助制度を導入

・太陽光発電設備の設置に対する国の補助金が17年度に終了し、全国的に同設備の導入件数が減少傾向にある中で、本県では日照時間が長い特性を生かし太陽光発電により自家消費した電力に「環境価値」を認め、居住する住宅に同設備を設置した場合、県から設置者に補助金を交付します。

<補助金額>太陽電池出力1kw当たり25,000円(上限125,000円/件)

<申込期間>平成20年10月31日まで(窓口:環境生活総務課)

●和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度の制定、シンボルマーク募集

・「プレミアム和歌山」とは、和歌山県内の食品や伝統産業に限定せず、祭りや郷土料理までを選定し、全国あるいは全世界にアピールするプロモーションです。ちなみに、「プレミアム」は「第一級の」とか「首位の」、「最初の」という意味。「プレミアム和歌山」は、商標登録の出願中です。

・シンボルマークについては5月30日まで公募します。推奨制度は、今年の夏頃からスタートです。ご期待下さい。

プレミアム和歌山

このロゴタイプは、県工業技術センター及び  
中村晴美デザイナー(当センター客員相談員)  
の協力により作成したものです。

◆お問い合わせ先  
和歌山県産業振興課ブランド推進室  
Tel 073-441-2841

◆応募用紙は、県観光連盟HP  
(<http://kanko.wiwi.co.jp/>)からダウンロード出来ます。

●「世界遺産 高野・熊野 大師の水」で和歌山県をアピール

・異業種の経営者で組織される和歌山県中小企業家同友会(351社)は、地域資源を活用した新しいビジネスを検討する中で、サカイキャニング(株)(本社・高野口町)と販売総代理店契約を結び、「世界遺産 高野・熊野 大師の水」を発売します。

“和歌山県を元気にしよう!”を合言葉に中小企業経営者が知恵を出し合い、地産「外商」のビジネスを通じて和歌山県の良さをアピールしていこうという委員会活動から生まれた「大師の水」の売上の一部は県の『世界遺産の森林を守ろう基金』に寄付されます。

高野山麓の地中深く静かに流れる清水を安心安全を第一に一本一本を丁寧に製造した「大師の水」は2007、2008年モンドセレクション最高金賞に輝いた超軟水の美味しい水です。

す。

販売総代理店	紀州紀文会(有)
	和歌山市屋形町3-24
	073-427-2828
販売価格	500ml、180円



●県等と和歌山大学における観光振興に向けた相互連携

・本年4月の和歌山大学観光学部開設（国立大学初）の機会を捉え、県と和歌山大学、県観光連盟の三者が協働して観光振興を図ることを目的に4月22日協定を締結しました。

・共同事業の内容は下記のとおりです。

【共同研究・共同調査】

県が毎年とりまとめている観光客動態調査に加え、本年度は観光客の満足度や観光消費額の調査を実施するが、データ収集について学生も参画し収集データは県と大学が双方で活用します。新たな観光戦略を企画立案。

【人材の育成】

県、観光連盟でインターンシップの受け入れ、フィールドワークの場の提供を行います。

例) 県観光連盟実施の観光キャンペーンへの学生の参加

情報発信基地「わかやま喜集館」(東京)でのインターンシップ受入等

【その他】

和歌山大学が実施する「観光カリスマ論」（観光先進地のキーパーソンとして活躍している観光カリスマによる講義）を支援し、学生だけでなく観光関係者や一般県民が講義を聴講する機会を創出します。

●「参詣道安心情報マップ」を県世界遺産センターのHPに公表

・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を安心して歩けるように携帯電話の通話可能区域を地図で示したマップを県世界遺産センターのHP(<http://www.sekaiisanwakayama.jp>)に公表しました。

・熊野古道や高野山町石道約140ヶ所、337カ所の地点で実際に4種類の携帯電話から固定電話に発信し調査しました。

・地図には約500m間隔で4種類の携帯電話それぞれが繋がった地点にマーク。トイレや休憩所、非常用電話なども表示しています。是非ご利用下さい。

●「和歌山県がん対策推進計画」を策定しました

・和歌山県のがんの現状を踏まえ、今後、本県のがん対策を推進する上で基本となる「和歌山県がん対策推進計画」を策定しました。

●本県の現状

\*平成17年 年齢調整死亡率（人口10万人対）の状況（順位はワースト）

全がん 男性：211.3（9位） 女性：100.9（6位）	大腸がん 男性：23.6（13位） 女性：16.7（1位）	肺がん 男性：55.0（1位） 女性：11.6（14位）
-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

●基本方針

- ・重点的に取り組むべき課題を定めた、総合かつ計画的ながん対策の実施
- ・がん患者を始めとする県民の視点に立ったがん対策の実施

●分野別施策として下記施策を行います。

- 1) がんの予防
  - ① 喫煙（喫煙を止めたい人に対する禁煙支援を行う）
  - ② その他の生活習慣
- 2) がんの早期発見
- 3) がん診療体制の整備充実
- 4) がん医療に関する相談支援及び情報提供体制の整備
- 5) がん登録
- 6) がんに関する実態把握

## 和歌山県観光振興アクションプログラム2008

～過去最高を記録した2007年の勢いを更に伸ばす～

- ★ 観光入り込み客総数 32,083千人（対前年1,440千人増、+4.7%）
- ★ 外国人観光客[宿泊客]163,870人（対前年37,657人増、+29.8%）
- ★ 平成20年度修学[教育]旅行 国内13校・海外9校の誘致決定  
（19年度 国内5校・海外4校）

### ◆ アクションプログラム2008の概要 ◆

#### 1 8つの魅力で和歌山を売り出す

- ①世界遺産 平成16年の登録以来続いている人気の維持と、周辺部での魅力開発  
〈高野〉 精進料理のブラッシュアップ、町石道のウォーキングコースとしての認知度向上、  
九度山まちなか観光  
〈熊野〉 『熊野古道の宿 霧の郷たかはら』の活用、スタンプラリー、JRとのタイアップ、  
大辺路ルートへの誘客強化
- ②温泉 各温泉地の特色ある魅力の創出(例:白浜のクエ、勝浦の町中マグロ巡り、  
龍神の美人湯)、各地の日帰り温泉
- ③ほんまもん体験/田舎暮らし 地元旅行者による旅行商品化の支援、受入体制の整備
- ④歴史・浪漫 西国三十三所結縁御開帳、徳川ゆかりの地、  
和歌浦をはじめとする紀伊万葉ゆかりの地  
わかやま歴史散策(古い街並み散策)、紀の川緑の歴史回廊
- ⑤四季折々の魅力 情報誌やラジオでの旬の情報提供、「花旅」ガイドブック
- ⑥食の魅力 日高・白浜のクエ、勝浦のマグロ、加太の鯛、和歌浦のシラス漁見学、  
とっておき食情報
- ⑦自然の素晴らしさ 「海に浮かぶ白い岬」(白崎)、ラムサールの海(串本)、  
マリンスポーツ等アウトドアスポーツ
- ⑧ブランド 「プレミアム和歌山」との連携

#### 2 和歌山へ招く

- ①首都圏から マスコミや旅行エージェントへの売り込み(広報室・わかやま喜集館との  
連携強化)、高野・熊野講座  
首都圏から近い南紀白浜PR、修学旅行の誘致商談会・旅行社キャラバン・現地  
研修会の開催実施
- ②近畿圏・東海圏から 高野・熊野・紀伊万葉講座、JR・南海・高速道路会社とのタイアップ  
企画、マスコミや旅行エージェントへの売り込み、リピーター化の促進
- ③海外から…《次ページのとおり》

#### 3 和歌山でもてなす

- ・タクシー・バス乗務員や宿泊施設従業員の「おもてなしへの関心」「おもてなし力」の向上
- ・和歌山大学観光学部との協働
- ・民泊受け入れ講座 ・観光ボランティアガイド全国大会の開催 ・観光統計調査の実施



## ◆ 2008年度 重点的取組 ◆

## 【高野・熊野】 ～和歌山観光の宝もの＝世界遺産の魅力を大きく育てる～

- ◆高野エリア…〈山内の魅力アップと滞在時間の延長〉〈高野周辺の資源の活用〉
  - ・宿坊での精進料理昼食と体験プログラム、山内訪ね歩き等を取り入れたツアーの商品化とメディアへの露出
  - ・携帯電話でのガイドシステムなど外国人を含め観光客が快適に巡れる観光地づくり
  - ・高野山町石道のウォーキングコースとしての認知度アップ
- ◆熊野エリア…〈ウォークの基盤整備と誘客の仕掛け〉〈紀伊路・大辺路の認知度向上〉
  - ・熊野古道中辺路(滝尻～本宮～湯の峰)における道標類の統一と英語併記
  - ・三重県、奈良県と連携したスタンプラリーとキャンペーンの実施、「熊野古道・中辺路完全版」完歩スタンプの整備
  - ・「熊野古道の宿 霧の郷たかはら」をトピックスとした中辺路ルートの特PR
  - ・JRと連携したキャンペーンと大辺路ルートの特PR展開



熊野古道の宿 霧の郷たかはら

## 【海外からの誘客】 ～国別の嗜好傾向や旅行熟度に合わせた誘客活動の強化～

- ◆成熟市場…〈消費者へ直接アピールするメディアの活用〉
  - 〈県内観光事業者との連携したプロモーション活動〉
  - 韓国＝観光展出展とゴルフ関連プロモーション、教育旅行の誘致
  - 台湾＝教育旅行の誘致、メディアファム、クエやマグリノなど高級志向に  
 応える旅行社ファム
  - 香港＝観光展への出展、春・秋等四季を求める香港人の嗜好を踏まえたメディアファム
- ◆途上市場…〈JNTOと連携したプロモーション活動〉
  - フランス＝・日仏交流150周年の機会を捉え、  
 国と協力したプロモーション活動  
 (高野山人気の一層の拡大)
- ◆これからの市場…〈認知度の向上〉
  - 中国＝家族旅行化や富裕層旅行がさかんになり  
 つつある上海等での和歌山の認知度向上
  - 他の欧米＝関西広域機構等との連携による  
 メディアへの露出拡大、航空会社と  
 連携したPR活動
  - ・10月の国際合気道大会時にメディアを招聘し熊野を紹介



## 【おもてなし】 ～接客第一線のおもてなし力向上～

- ◆地域全体の「おもてなしの心」醸成…観光関係者、県民向けオープンセミナー
- ◆観光関係者の「おもてなし力」向上
  - ・公共交通機関(バス、タクシー)の乗務員や旅館・ホテルの接客係に対する接客スペシャリストによる研修
  - ・外国人観光客対応力向上研修(観光従事者に海外の習慣等を踏まえた接客態度などについて研修)



# ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）スタート！

## ふるさと和歌山を応援しよう！！

本年の税制改正により、地方公共団体への寄附金控除制度が拡充され、和歌山県では「ふるさと応援寄附」をスタートさせました。

和歌山県は、美しいふるさと和歌山をさらに「元気な和歌山」にしようと頑張っています。生まれ育った和歌山を応援したいとお考えの方、和歌山出身ではないけれど和歌山を応援したいとお考えの方、是非、「ふるさと和歌山応援寄附」を通じて応援してください。

### 1. ふるさと和歌山応援寄附金の使いみちは

寄附金は、次のことに大切にに使わせていただきます。

- ①世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用をすすめます
- ②わかやま国体の開催に向けて準備をすすめます
- ③わかやまの美しい海づくりをすすめます
- ④わかやまの文化財の保護をすすめます
- ⑤学校図書館や県立図書館の蔵書の充実をすすめます
- ⑥大切なふるさとの森を守り育てます（トラスト運動）

和歌山県のホームページ上に「ふるさと和歌山応援サイト」を立ち上げました。寄附の手続きなど詳しいことはこちらをご覧ください。このサイトから直接寄附の申し込みができます。



ふるさと和歌山応援サイトのタイトル画像

URL : <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

和歌山県と県内市町村は協力して元気なふるさとづくりに取り組んでいますので、県・市町村ともども篤い応援をお願いします。

### 2. 寄附金の控除額や控除手続きは

和歌山県に5000円を超える寄附をしていただくと、5000円を超える部分について一定限度額（およそ個人住民税額の1割の額）までが、所得税と住所地で課税される個人住民税から控除されます。

このことから、寄附をすることによりふるさとに納税するのと同じことになるため、「ふるさと納税」とも呼ばれています。

所得税及び住民税の寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告が必要です。

和歌山県観光パンフレットのインターネットお取り寄せサービス

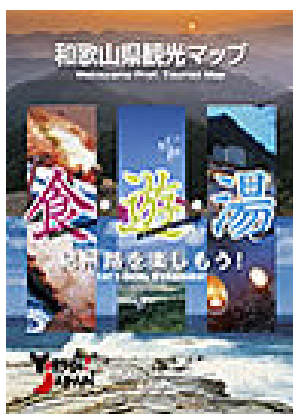
## 「ネットでGET！」はじめました

観光パンフレット や 情報 の お取り寄せ が  
インターネットからできるようになりました。

どんな  
パンフレット  
があるの？



全県マップ や 温泉、熊野古道、「わかやま花旅ガイドブック（四季を彩る花々）」、外国語版パンフレット や和歌山県観光情報誌など・・・インターネットの画面を見て、選んでください。



### ★「24時間いつでもOK！」

インターネットだから 曜日も 時間も気にせず、申し込みできます。  
(その場でダウンロード、プリントアウトも可能。一部、例外もあります。)

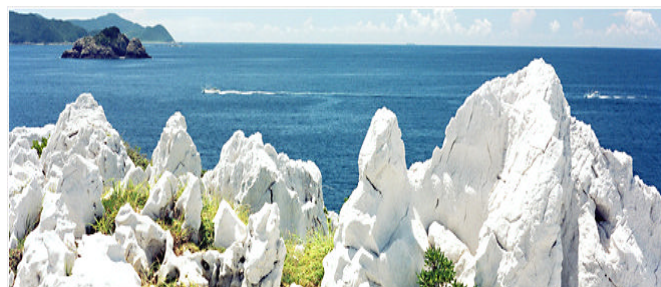
### ★「ネットでGET！」の アクセス は、

 <http://kanko.wivi.co.jp/pamphlet/index.html>

「わかやま観光情報」→「観光パンフレットお取り寄せ」

(注) パンフレットの種類によっては、一部ダウンロード及びプリントアウトが出来ない場合があります。

また、一人でも多くの方にお送りするために一回の配送部数を制限させていただく他、在庫等により発送できない場合もありますのでご了承下さい。



平成の大合併も一段落。今、和歌山県には、30の市町村があります。今回から、ふるさと歳時記のコーナーでは、旬の市町村の紹介をさせていただきます。皆さんのふるさとの登場をお楽しみに。

## 日本唯一「飛び地の村」での北山村奮戦記～観光筏、邪払、村ブロ

丸太を組んだだけの昔ながらの筏で激流を下る「北山村の観光筏下り（表紙写真）」。手すりはついています、そのスリルと爽快感を楽しみに、毎年7,000人以上が、「筏下り」に訪れるという人気です。

もともと北山村には、木材を筏で新宮に運ぶ「筏流し」があつて、それはなんと、数百年も続いたそうです。

その技術を持つ筏師の方々が30年前に復活させたのが、現在の「筏下り」。杉の丸太8本を組んだ筏を「床」と呼び、床7台を連結した筏は、全長30mにもなります。

秘境「奥瀬峡」を下る観光客の、たくさんの歓声。今ではすっかり夏の風物詩として定着しました。（筏師の後継者も募集中です。）

北山村は、日本で唯一、県境を越えた「飛び地」。奈良、三重両県に囲まれているのですが、古くからの結びつきの強い和歌山県でいることを73%の村民が選んだからです。

### 「じゃばら」

6年前、愛用者から「花粉症に効く」という情報があり、調査し、確認。反響を呼び一気に人気者となった「じゃばら」。

「じゃばら」という名前は、「邪気を払う」からきていて、村では正月に欠かせない縁起物。村の人たちは、「種の少ないユズ」くらいにしか思っていなかった所、「じゃばら」は北山村でしか自生していない「世界に例のない品種」だと判明。村外に持ち出しても育たないという「幻の果実」だったので。

生果汁や果実、飴、「じゃばらはちみつ漬け」などが高い人気。年末には化粧品も発売予定です。

### 「村ぶろ」

「村ぶろ」…村の温泉…とかではありませんよ。全国初の「自治体が運営するブログポータルサイト」です。（アクセス数8万～10万/日、会員7,000人）

平成19年6月にオープンした「村ぶろ」は、人口500人の小さな村、北山村と世界を繋ぎ、日経地域情報化大賞日経MJ賞も受賞。全国から注目され、アクセスも急増中です。

ブログ会員には楽しい特典も。ブログを通じて知り合つて、筏で結婚式を挙げるカップルもいます。（これ、ほんとの話です。）

伝統、最新技術、挑戦・・・輝く「北山村」でした。

○北山村直販サイト <http://www.kitayamamura.com/>

○村ぶろ <http://www.murablo.jp/>



## ～編集後記～

本誌では「ふるさと歳時記」のコーナーを設けています。これは市町村単位での四季折々の行事や催し物等をタイムリーに紹介し、ふるさとを懐かしんでいただくと共に、皆様方の旅ごころをかき立て、あわよくばこの機会にふるさと和歌山への家族旅行などを計画していただきたいという私の浅はかな企みからであります。

今回は、日本唯一の「飛び地の村」で有名な北山村を取り上げてみました。北山村の筏下りは、村おこしの一環として約30年前に復活しましたが、今ではすっかり夏の風物詩として定着し、夏休みのシーズンには家族連れで大いに賑わっています。皆様もぜひ一度筏下りを体験してみてください。

「ふるさと歳時記」のコーナーでは、毎回どこかの市町村を紹介する予定にしておりますので、皆様のふるさとの登場を楽しみにお待ちしております。

それから、今般国の税制改正により地方公共団体への寄付金控除制度が拡充されることとなりました。（いわゆる「ふるさと納税」）平成20年5月1日施行）

これを受け、和歌山県ではホームページ上に「ふるさと和歌山応援サイト(正面右上段)」を立ち上げ、皆様方の支援をお願いすることといたしました。

ぜひとも「ふるさと和歌山応援寄附」の趣旨にご賛同いただき、和歌山県の取り組みを応援して下さるようお願いいたします。

なお、手続きなど詳しいことは和歌山県ホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」をご覧ください。

何とぞ宜しくお願いします。

知事室秘書課長 鈴木敏彦



「和歌山だより（5月号）」はいかがでしたか？

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2008年（平成20年）5月

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022